



MODEL A223800

特長

- VPG Model 2238用信号モジュール
- 各種規格対応：
 - SD-SDI
 - HD-SDI
 - 3G-SDI (LevelA/B)
 - 6G-SDI
 - 12G-SDI
- 各種SDI規格対応：
 - SMPTE 292M
 - SMPTE 274M
 - SMPTE 296M
 - SMPTE 425M-A/-B
 - SMPTE ST-2081-10
 - SMPTE ST-2082-10
 - SMPTE ST-2082-12
- Video payload identification編集 (SMPTE 352M)
- Square division/sample interleaveモード設定
- RGB/ITU-R BT.601/ITU-R BT.709/ITU-R BT.2020 色空間
- 色深度：8/10/12ビット
- 12G-SDI信号出力ポート×4
- 複数信号モジュールで同期出力
- HDR (High Dynamic Range) 対応
- スクロール機能
- ESD保護機能
- BMP形式のパターン出力に対応



12G-SDI 信号モジュール (2238用) MODEL A223800

8K&12G-SDIテストソリューション

8K SHV (7680x4320) 及び次世代規格の12G-SDI試験ニーズに対応するために8K対応VPG MODEL 2238用に12G-SDI信号モジュールを開発しました。

様々なSDI規格をサポートするSDI信号出力ポート4つと240を超える標準SDIタイミングパラメータを使用することで、モジュール1基で最大8Kの高解像度テストに対応できます。さらに複数のモジュールを組み合わせての同時出力は、あらゆるSDIテストおよび測定・評価に使用することができます。

SD・HD・3G-SDIテスト

SDI (Serial Digital Interface) の規格は、ITU-R BT.656およびSMPTE (米国映画テレビ技術者協会) によって標準化されています。非圧縮デジタル信号の伝送には放送業界で広く採用されている同軸ケーブル (公称75Ω) を使用しています。

SMPTE 259MはSD-SDIとして知られており、270Mbpsの伝送速度に対応したNTSCやPALなどのアナログ信号の伝送規格です。

SMPTE 292MはHD-SDIとして高解像度のビデオ信号規格として広く普及し、1.485Gbpsの伝送速度に対応した規格です。

SMPTE 424Mは現在3G-SDIとして最も普及している規格です。各社が放送・映像ハードウェアインフラに多大な投資を行った結果、2.97Gbpsの伝送速度に対応する規格として1080pおよびそれ以上の解像度出力が可能となりました。

そして12G-SDIテストの時代へ

映像規格はSD (480p)、HD (720p)、FHD (1920x1080)、そしてUHD (3840x2160) と進化してきました。そして将来のSHV (7680x4320) 時代に移行するために放送および映像製品メーカーは準備を進めています。既に様々なスポーツやビッグイベントの放送において、12G-SDIは非常に重要な役割を果たしています。

A223800 12G-SDI 信号モジュールはSMPTE ST-2082規格に準拠しており、ITU-R BT.2020 広色域 (Wide Color Gamut) で12Gbpsの転送速度と12ビットの色深度をサポートします。Video Payload Identificationのリアルタイム編集機能はテストアプリケーションに更なる柔軟性を提供します。

HDR(High Dynamic Range)対応

HDR画像出力に対応することでグレースケール、カラーバー、ウィンドウ、その他の多くの画像パターンからHDR関連テスト用のHDRメタデータを調整し、製品に対して要求仕様を満たしているか事前テストを実行することができます。



